電設新聞

発行所
社団法人
福島県電設業協会
発行人　國津政夫
郵便番号960
福島市松浪町9－6
（福島県電協会館）
電話(0245)33-6226
編集印刷㈲福島タイムズ社
福島市御山字井戸上64-5

電気設備
住宅設備機器
コーディネーター　OKADA
岡田電気産業株式会社
本社＝いわき市平谷川瀬字明治町二七
営業所＝白河市（〇二四七）二五－六一一一
須賀川・郡山南・郡山北・会津
原町・相馬・福島東・福島・いわき南
勿来・他県外十二ヶ所

心肺蘇生実技学ぶ

平成6年度技術講習会

本協会講習会では初の試み

本協会の平成六年度技術講習会が七月二十八日、郡山市のユラックス熱海で開催され、電気設備施工に関する様々な課題を取り上げたほか、労働災害が多発している現状に鑑み救命救急技術の習得に努めた。県内全域の本協会会員企業をはじめ、電気工事工業組合傘下事業所の主任技術者らが、さらに県空調衛生工事業協会の技術委員らも交えて三百五十六名が参集、本県建設関係団体の技術講習会としてはこれまでにない規模となった。

技術と人命尊重

冒頭、あいさつに立った國津会長は、「当協会では技術力向上と責任施工体制の確立に向けて講習会を重ねてきたが、今こそ更なる業界の発展を考えていかねばならない時だと思う。経営者らの意識改革と共に現業部門の第一線に立つ技術者の皆さんのレベルアップを図らなくてはならないと考えている。今回は技術的なテーマだけでなく人命尊重の立場から救命救急を学んで今後のいざという時に備えていただきたい」と述べた。

藤井氏

内田氏

國津会長

続いて来賓を代表して宗像武久県営繕課長が「建築の中で設備のウェイトが高まっているということは、すなわち建築設備への投資が増加していることを示している。この講習会を通して世の中の出来事や建設業を取り巻く情勢を正確に把握し、電気設備の仕事を通じて素晴らしい福島県の発展のために協力していただきたい。本日の講義内容にもある救命救急は時宜を得たもので労働福祉の向上にも繋がるものと考える」と祝辞を述べた。

伊藤氏

菊地氏

宗像氏

小浪氏

午前の部では、宗像営繕課長が〝今年度の営繕事業について〟と題して事業概要を説明すると共に「資格は技術者の勲章であり、それを評価する会社の態勢も必要だ。ものを創造するという自己実現欲を満たしステップアップしていただきたい」と参加者を激励した。引き続き、建設省東北地方建設局の内田正弘営繕課長が〝これからの電設業と技術者の役割について〟と題して講演し、ガットの政府協定により国際化が急速に進展する中で我が国の建設産業界は大きな転換期に入ったことを述べた上で、「入札契約制度が改善される中では技術者の役割がより重要になっている」と説明した。この後、昨年度県工事検査結果の説明を行って午前の部を終えた。

午後一時からは、小浪博英県土木部技監兼都市局長が〝福島県の魅力について〟と題して自らの海外経験を述べると共に本県の特徴について語り、豊かさによってハングリー精神が不足している面があるとの指摘を加えた上で、電線の地中化などの事業を通して美しいまちづくりを進めよう－と今後の都市整備の方向を示した。さらに、県営繕課の伊藤俊一専門電気技師兼設備第一係長が施工の良否を左右すると言われる〝施工計画書〟の作成を取り上げ、その目標・事前調査時のポイント、そして安全施工を実現して高い品質を確保する上で重要なソフトウエアーであることをより理解し、なおかつ研究してほしいと結んだ。

引き続き本県建設関係団体では初講習となる「応急救護措置」の講義に移った。講師には県立医大救急科部長の藤井眞行先生や郡山消防署の鈴木澄雄救急係長、消防司令らがあたった。先ずは藤井先生が応急救護処置として最も重要な心肺蘇生を行う場合に必要な基礎知識を講義した。

その後、人体模型を使って観察の手順、一次救命処置の実技を学んだ。参加者のほとんどが初めての経験だったこともあり、全員が一次救命措置を身につけようと郡山消防署担当者らの指導を懸命に受け実技を行っていた。

そして、講習会を締めくくる形で菊地田和営繕課主幹兼課長補佐が登壇、講評と質疑応答を行った。まず、前もって提出された質問書に応える形で建設産業廃棄物の処理などについて述べた後、ユーザーのニーズが多様化する中で技術革新が進んでいるという電気設備工事業界がおかれている環境を説明し、技術者個人としての役割、会社としての対応等を示したほか、出席者が講習の内容を各社で説明し啓蒙を図ることがレベルアップにつながる－と結んだ。

最後に本協会の鷲技術委員長が、今年度計画している研修計画を説明し、次の時代を意識した技術者育成策を協会として展開することを強調して全日程を終了した。

藤井氏の指導で國津会長を先頭に実技学ぶ

長年の功労を評価

中島氏（白河支部（福島電設））に大臣賞

今年度の国土建設週間における建設事業関係功労者として本協会の白河支部長である中島幸一氏（福島電設社長）が栄えある建設大臣表彰を受賞した。

中島幸一氏

中島氏は、白河市の出身で今年六十四歳。

昭和二十二年に白河中学校を卒業の後、父である万太郎氏の経営する中島工業所に入社し、それ以来四十七年余り社業に精励するとともに、白河地区電気工事協同組合の発展に貢献したほか、消防設備士の育成にも力を入れ、協同組合県南消防設備点検センターの理事長を務めた。

また、本協会の理事を昭和四十八年から務めており、現在は白河支部長にして総務委員長等要職にある。

さらには商工会議所の議員も昭和五十三年以来務め、昭和六十三年に東北六県商工会議所連合会の会長表彰、そして平成二年には建設功労により県知事賞を受賞している。大臣賞の伝達は七月十一日に建設省で行われている。

National
松下電工

電線地中化に対応した
新しい都市環境照明です。

●道路照明、信号、交通標識を一体化。
●電線地中化事業(CABシステム)に対応。
●街並みの美化、都市景観向上へ貢献。

ナショナル多目的ポール照明

お問い合わせは〔〒963〕郡山市朝日2丁目5-15松下電工・福島営業所☎(0249)39-7731

A&i
快適を科学します

地元優先発注崩さず

県建設業審議会 佐藤県知事に答申

実施要綱づくりに

県建設業審議会(奥山健一会長)では、第四回の審議を経て入札・契約制度改革に関する答申をまとめ、七月二十一日に佐藤栄佐久県知事へ提出した。県は五月二十七日に開かれた二回目の審議会に一般競争入札の在り方などの四点を諮問していた。審議では、一般競争入札導入が一つの柱になったこともあって、県内地元業者の保護育成にどう配慮するかが焦点となったが、ランク付はこれまで通り主観点と客観点(経審)の合計で行うことや一般競争入札の対象を国の指導に準じた二十四億三千万円以上の工事にするとして今後も地元優先発注の姿勢を継続する形に留めた。

一般競争入札導入の是非からはじまった県建設業審議会は、これまで開いた四回の会議で①県発注工事の請負契約にかかる一般競争入札の在り方②多様な指名競争入札の在り方③共同企業体の在り方④入札・契約制度の公表―について検討を重ねた。

その結果、一般競争入札は時代の趨勢であり導入は避けられないとの判断から国の指導(ガットウルグアイラウンド協定)に基づいた二十四億三千万円(四五〇SDR)以上の全工事とし、それ以下は競争性・透明性を高めた多様な入札方式(公募型・技術評価型意向確認方式・希望工種反映型・従来型)という五段階でで行うとの答申に行き着いた。

審議会は、中央建設業審議会が昨年十二月にまとめた建議と今年一月閣議了承された「公共事業の入札・契約手続きの改善に関する行動計画」を基本とし、県内建設業の振興に配慮することを軸に進められ、結果としてこれまでどおり県内業者優先活用の姿勢は守られたと言える。また、指名競争入札の改善施策として福島県が昨年十月から独自に実施している技術評価型意向確認方式は多様な指名競争入札の中核として位置付けられた。

各入札方式の対象となる工事金額は、条件付一般競争入札が二十四億三千万円以上、指名競争入札のうち公募型は十五億円から二十四億三千万円未満、技術評価型意向確認方式は一般土木が一億円以上十五億円未満(建築は二億、設備関係は五千万、その他は一億以上)、希望工種反映型が五千万円から一億円、五千万円未満はこれまでの指名入札。

このうち一般競争入札と公募型指名競争入札については工事概要や、参加資格等が公示されることになるが、参加資格については国の指導要綱等から考えれば経営審査事項の点数や施工実績、監理技術者の専任配置の可能性、過去五年間の同種工事実績が内容となりそう。また、県は独自に入札参加業者のランキングを行ってきたが、主観点と客観点(経審点数)の合計とするこれまでのカウント方式は継続される見通し。

一方、もう一つの焦点となっていた共同企業体については、「単体発注の原則」が全面に打ち出されている。そして特定建設共同企業体の対象金額について、一般土木と建築工事が十億円以上、電気・暖冷房衛生設備工事とその他の工事は五億円以上に引き上げた。さらに金額八〇%以上で、なおかつ特殊な技術等を要する工事は対象を上げた。

なお、この引き上げに伴って特定JVから単体施工となる工事については、県内業者で通年的に結成している経常建設共同企業体の積極活用を求めている。

また、構成員数については例外措置を設けずに二ないし三社とし、その結成については予備指名を廃止、企業間の自由意志を尊重し自主結成方式にすべき―とした。

一方、地方自治体に対する国の指導ではJVの構成は最上位等級同士(土木のみ最上位等級と次の等級)となっている。

入札・契約制度の公表では県民にわかりやすいものとするため、今後は発注平準をはじめ発注予定工事とともに指名業者、三千万円以上の入札経緯、入札結果については閲覧者の利便確保から本庁機関の特定の場所においても一括公表すべきとした。

答申は平成六年度の早い時期に実施を求めているが、事務作業としては答申内容を整理するため総務部(財政課)を中心に実施要綱づくりが開始されることになる。

入札制度の改善審議を進めてきた奥山会長(右)は佐藤県知事(中)に答申した。

ムツ電を安全表彰

県建災防大会行う

第二十八回建設業労働災害防止大会が七月十八日午後一時から福島市のサンパレス福島で行われ、建設業労働災害防止協会県支部の会員ら約二百人が出席した。

大会では冒頭、労災の犠牲者の黙祷を捧げた後、建災防県支部の志賀久太郎支部長があいさつに立ち、「今年は死亡災害が多発する深刻な事態となった。建災防各分会が一体となって労災防止に向けた諸事業を展開しなくてはならない。同時に三カ月ゼロ災運動、三大災害撲滅運動にも積極的に取り組む」と強い姿勢を打ち出した。次いで建災防県支部長表彰と福島労働基準局長表彰、建災防会長賞の顕彰が行われ、労働災害防止に功績のあった事業場、個人、それに安全表彰で高成績を上げた会社に表彰状が授与された。

続いて福島労働基準局、県土木部、建災防本部から出席した来賓が祝辞を述べた、このうち基準局の小林安全衛生課長は「全員が安全かつ健康で働ける環境づくりが労働福祉の基本であり、死亡災害が多発する建設業に対しては指導を強化していきたい。皆さんには事業者本来の責務を果たすよう期待します」と述べた。

休憩をはさみ伊藤博隆氏(労務安全コンサルタント)が「建設現場における安全管理の盲点」をテーマに講演した。

最後に安全の誓いが採択され①墜落、崩壊、建設機械災害など三大災害の絶滅②安全施工サイクルの徹底③自主的安全衛生活動の推進―の総力を上げた実践を打ち出した。

電気工事部門で平成五年度の安全表彰を受けた企業は次の通り。

▽優勝＝ムツ電▽準優勝＝三浦電気工事▽第一位＝吉田電工

地元優先を陳情

いわき少年自然の家

本協会と㈳県空調衛生工事業協会(塙正光会長)は七月十九日、県庁を訪れ、いわき少年自然の家(仮称)建設(電気・暖冷房衛生設備)について地元優先活用を要望、國津会長はじめ両副会長らが同行した。

これは、登庁した二団体のみならず建設業界を取り巻く環境には依然として厳しいものがあるが、二団体は県内県内屈指の基幹産業たる社会的使命の重要性を認識し、同日はいわき少年自然の家(仮称)建設に伴った電気及び暖冷房衛生工事の発注において県内地元業者の活用に特段の配慮を―と國津会長らが、県教育長および県土木部の各関係課へ代表して主旨説明を行った。

陳情を受けた県側のうち、県土木部の江花部長は「できるだけ業者さんの要望に沿うように心掛けたい。豊かで住み良い県土づくりに地元発注は当然のこと」と理解を示した。

関係者200人集う

成田氏秋の叙勲祝賀会

成田理事長

長年にわたる本県電気工事業界振興に貢献したことが評価され今年春の叙勲で勲五等瑞宝章を受賞した成田幸一氏の受章祝賀会が七月十六日、郡山市のホテルはまつに成田氏の友人や業界関係者ら約二百人が参集して盛大に行われた。

冒頭、発起人を代表して県電気工事工業組合の遠藤雄蔵副理事長が、成田氏の経歴を紹介し、電気工事業界発展に寄与した功績を称えたあと、来賓として出席した県知事、郡山市長、全日本電気工事工業組合連合会長(それぞれ代理)が祝辞を述べた。続いて祝電披露や記念品さらに花束の贈呈が行われ祝賀ムードを盛り上げた。

このあと、成田氏は謝辞の中で「今後ともできる限り地域の発展に協力したい」と抱負を語り万雷の拍手を浴びていた。

社会のニーズに応え
省エネに貢献する……Aichi
各種トランスの 愛知電機
高圧スイッチの 大垣電機
(発売元)
愛知電機商事㈱ 仙台営業所
仙台市青葉区宮町1丁目1-20
TEL 022-221-5576

三菱照明器具・換気扇
株式会社三菱電機ライフテック東北
福島支店 TEL(0245)34-7121
郡山支店 TEL(0249)59-6060
いわき支店 TEL(0246)26-0211
会津支店 TEL(0242)27-4425
原町営業所 TEL(0244)22-8821

TAKAOKA
フル容量で、フルラインアップ
無停電電源装置
クリーンUPS
●クリーンUPS 3KV
■低損失形変圧器
■課電表示器
■受変電設備、システム製品、水処理その他の環境設備
コンピュータシステムのニーズに応える
株式会社 高岳製作所
福島営業所 TEL0249(33)7709
〒963 郡山市駅前1-14-21(郡山花椿ビル)

KOITO
安全と快適を求めて
安全へのトータルシステム
●道路情報表示システム
●道路気象観測システム
●トンネル防災システム
●交通管制システム
●交通信号機
●街路・広場・スポーツ照明
小糸工業株式会社
仙台支店 〒980 仙台市青葉区国分町2丁目2番5号(柴崎ビル) ☎022(225)7501

第9回工事施工体験発表会より

新入社員を育ててゆくには

影山　日出夫氏
クレハ電機㈱
工事部工事課主任

はじめに…

発表テーマ選定にあたって、当社は創立以来まだ日も浅く公共工事の受注件数も少ない上に、特徴ある工事の経験も少ないので今回は技術的なテーマではなく、私達の会社として現在直面している最も重要な課題である〝新入社員教育〟について、現場で体験している中で常々こうあるべきだと考え、実行していることを発表致します。

当社の人員構成（カッコ内は女子）

▽新入社員＝2～3人／年
▽社員の平均年齢＝三十一歳
▽男子の平均年齢＝三十二歳
▽年代構成＝十代・4人（1）二十代・11人（3）、三十代・4人、四十代・8人、五十代・2人

業務の特徴

①直営はもとより監督員を中心に協力会社とも連携を取り合いながら工事の設計監督を行うことが、業務の中でも主たるものと言える。

②直営で現場作業に従事している社員は、将来、監督代人として独り立ちするための十分な知識と技能を身につけるための訓練と経験を積む期間。

③私達の会社の唯一最大の財産は人でありそれぞれの人の技術力と顧客への信頼が集積されたものが会社の力となっている。

建設業に働く喜び

3K職場として建設業は若者が嫌う職業と言われているが、最近は建設業を希望する新卒者が増えつつあるという。建設業は他の職業と比べて次の事項が喜びとなると考える。

▽創造の誇り＝自分たちが苦労して創りあげたものが形として後世に残る。
▽多くの人達と交わる楽しさ＝建設現場では多種多様な人達と連携を取りながら仕事を進めなければならない。そこに楽しい人間関係が生まれる。
▽大きな仕事を主導できる喜び＝他の職業ならひとつの歯車の役割でしかない年代でも大きな仕事を任されて総合的な力を発揮して完成させてゆく喜びがある。

新入社員教育

有能な社員を育てていくために

期待に胸を膨らませて入社してきた若者も途中で建設業には適していないと考え脱落、退社していく人もいるが、建設業を一生の仕事としてやって行こうと決めた人達をどのようにして一人前の建設人として育てていくかを考えることは、先輩である私達大切な役割である。

当社の教育の過程

①新入社員集合教育（〇・5月）社会人として基本的な教育。
②現場での見習い教育（約2年のマンツウマン教育）直接現場作業をとおして現場における基礎的な技能を身につけるとともに人との関わりを知る。
③高い技能の習得（約3年）現場での作業を通して習熟した技能を身につけ、現場の立場からの設計、管理、監督の能力を養成するとともに、多種多様な人達との関わりからそれぞれの立場の対応を知っていく。
④監督代人の見習いとして先輩たちの指導のもとに小規模工事を任せていく。

部下を育てていくための留意点

①適性を見て将来目標を立ててそれに見合った教育をする（監督代人＝設計能力の習得や多様な国家資格の習得、現場作業のリーダー＝施工技術の熟練と円滑な人間関係の構築）。
②リーダーは部下の模範であり自信をもって部下と接するためには技術、知識、技能いずれも模範となることで部下から信頼され尊敬される。
③部下に仕事を任せる。多少の不安があっても失敗を恐れず我慢して見守っていく。適正なチェックやアドバイスが必要。
④部下の良き相談相手として聞き上手になって何でも相談にのる姿勢が必要。
⑤仕事を離れた時は良き先輩でも仕事には妥協せず厳しく。

チームをまとめていくためにリーダーのありかた

多くの業種の人達が働く工事現場で、経験の浅い社員を使って円滑に仕事を進めるためには、良きチームワークが不可欠である。そのためには次の五点に留意すべきと考える。

①チームの責任者がリーダーシップを発揮すること。
②チームとしての明確な目標を示し実行すること（会社の目標→チームの目標→個人の目標）。
③チーム内の良きコミュニケーションを図る。
④チーム内での円滑な人間関係を作る（常日頃から楽しくしごとができる雰囲気作りが大切）。
⑤ウイークポイントのないチームを作る（個人の能力を伸ばし弱点を補強する）。

終わりに

日頃から考えてきたこととは言え、今回の体験発表会にあたって改めて整理してみると、これからの仕事に対する姿勢を正す良い機会となりました。今後は自分の力を過信することなくチーム全体の力、部下の力を借りていくことを心掛け、常にチームのことに問題意識をもって現状より一歩でもより良い方向を目指しながら仕事に励みたいと思います。

講評

県土木部営繕課
主幹兼課長補佐
菊地由和

新人には本人の「やる気」がまず必要だと思います。しかし、不安が先行してどうして良いか判らないのが本音でしょう。そこで、社会的にも尊敬される先輩の皆さんの役割が必要で、失敗を恐れず（フォローは考えておかなくてはならない）積極的にアタックすることを教え、道を開き、時期をみてカウンセリング等も必要だと思います。

36社に受賞の栄誉

県優良建設工事表彰式

平成六年度福島県優良建設工事の表彰式が、七月十五日に福島市の杉妻会館で開かれ電気設備部門において大槻電設工業㈱（福島支部）が表彰を受けた。

表彰式には、今回受賞の栄誉に輝いた三十六社と県側からは佐藤栄佐久知事はじめ江花亮土木部長、黒澤清農林水産部長さらに両部各課長、来賓の菅野喬之県議会議長及び建設関係団体の代表ら多数が出席した。

農林総務課の陽田正夫参事兼課長の司会ではじまった式は先ず、佐藤県知事が「昭和四十二年以来、今年で二十七回目を迎え本当に喜びに堪えません。二十一世紀の新しい生活圏・うつくしまふくしまの実現に向け、きょうここに受賞されます皆様におかれましては、今後も優秀な建設技術と深い経験を持って県勢伸展にご尽力願います」と祝辞を述べた。

引き続き、黒澤、江花両部長が内申から現地審査までの経過説明を行った後、賞状授与に移り、佐藤知事より受章者一人ひとりに賞状と盾が手渡された。

さらに、菅野議長の祝辞の後、受章者を代表して蒲生工業㈱の代表取締役が「この度の受賞の感激を今後も忘れることなく二十一世紀に向け県土づくりの担い手として更なる精進に努めます」と謝辞を述べ閉会した。

平成六年度における県優良建設工事（電気設備部門）の講評は次の通り。

◎土木部

▽電気設備部門（大槻電設工業）＝保健福祉の合同庁舎で特殊設備が多い中、設計内容を熟知し、出来形及び施工管理体制が優れているとともに品質・出来栄えが優秀である。

知事賞受賞を祝う

大槻電設（福島支部）祝賀会

今年度の県優良工事で、電気工事部門を受賞した福島市の大槻電設工業㈱（福島支部・大槻賢彌社長）は、七月二十九日に福島市の福島ビューホテルにおいて受賞祝賀会を催した。

知事賞を受賞したのは福島県保健衛生合同庁舎（福島保健所・精神保健センター合同庁舎）の改築電気設備で、特殊設備が多いにもかかわらず施工管理体制が優れ品質、出来栄えが優秀であったことが高く評価され晴れて表彰の栄誉をうけたもの。

祝賀会には、県土木部の宗像武久営繕課長ら県の関係者のほか、本協会の役員、さらに受賞施設の設計者および建築施工者、大槻電設工業㈱の社員ら二百十人が出席、暑気払いを兼ねて受賞を祝った。

10年振りに公共入札のガイドラインを見直し

公正取引委員会は独占禁止法運用の新たな指針となる「公共入札ガイドライン」を八月五日に決定した。ガイドラインの見直しは十年ぶり。

新しいガイドラインでは、対象を公共事業の入札全般に広げ慣例的に存在した調整行為や情報交換による受注予定者の決定をすべて違反とするなど、現行のものより明確な姿となった。

なお、このガイドライン等講習会は建設業適正取引推進機構で主催する建設業の適正取引に関する講習会として九月十六日午後一時より福島市サンパレス福島で行われる。

これは㈳県建設業協会との共催で準備が進められているもので、新しい公共入札ガイドラインを含めた独占禁止法と建設業法の改正等が主な講習内容となる。講師は公正取引委員会や建設省、警察庁などの担当者が務める予定。

電気設備の総合メンテナンスは当協会に！
当協会は、自家用電気設備の保安管理業務のほか、変圧器、リレー等の試験や非常用予備発電装置の点検、省エネの調査分析など幅広く行っております。何なりとお気軽にご利用下さい。
財団法人 東北電気保安協会
福島事業本部　福島市泉字南谷地5－6　☎(0245)57－2177
福島事業所　福島市泉字南谷地5－6　☎(0245)57－2161
原町事業所　原町市高見町2－106－5　☎(0244)22－3568
郡山事業所　郡山市富久山町久保田字田池7－1　☎(0249)32－6054
白河事業所　白河市東三坂山2－47　☎(0248)22－6066
いわき事業所　いわき市平字梅香町8－6　☎(0246)23－8815
若松事業所　会津若松市町北町大字上荒田字村北147　☎(0242)32－3350
須賀川事業所　須賀川市大字西川字後田78-5　☎(0248)72-9120

湯ったりあったか 電気温水器
昼間の従量電灯料金に比べ 約1／3
午後11時　午前11時～翌日午前7時まで　夜間時間帯
昼間時間帯　午前7時～午後11時　午前7時
割安な深夜電力利用だから。
1日の電気代のめやす
約150円／日
東北電力
お問い合わせはお近くの東北電力事業所へお気軽にどうぞ。

電線・配線器具・照明器具・開閉器・配電機器
電線管及び付属品・電設資材一式卸
戸部電材株式会社
仙台市若林区土樋97・TEL(022)225-7511㈹
■福島営業所／福島市瀬上町字桜町3丁目12-3　☎(0245)53-8551㈹
■郡山営業所／郡山市大槻下町東52　☎(0249)61-6667㈹
■いわき営業所／いわき市好間町下好間鬼越47-1　☎(0246)36-5533㈹
■原町営業所／原町市北原字本屋敷153　☎(0244)23-6106㈹
■相馬営業所／相馬市椎木字北原104-1　☎(0244)35-6350㈹

National/Panasonic
映像・音声システム機器のプランニング のお問い合わせは…
東北松下システム株式会社
郡山市図景二丁目1番11号　TEL (0249) 23－1710
松下電器産業株式会社　システム営業本部　東北支店
仙台市青葉区国分町3-1-11　TEL (022)223-5111

TOSHIBA　新しい技術信頼のあかり
―東芝インバーター器具・WIDE配線器具―
東芝ライテック株式会社
東北支店郡山営業所
〒963 郡山市桑野四丁目2番地2号
TEL(0249)22-5511～4

春と秋，夕暮れと夜。
1つのランプが2つの光色を持ちました。
ツインアーク
1つの外球バルブ内に水銀ランプと高圧ナトリウムランプの2つの発光管を収めた2光色発光形HIDランプ「ツインアーク」誕生
EYE 岩崎電気株式会社
郡山営業所・☎(0249)61-2292　FAX61-2265
いわき事務所・☎(0246)23-1386　FAX22-3716

支部だより

福島支部

ハイレベルなゴルフコンペ

七月二十七日、支部の前期ゴルフコンペがパーシモンカントリークラブに於いて行われました。

猛暑の中、参加者全員がハイレベルのスコアで熱戦をくり広げていましたが、後半スタート後四ホールを経過した頃に突然の豪雨と地響きのするカミナリで中断し、電源が切れてカートが動かなくなり全員売店へ非難しました。

日頃の行いの悪さを追及している間に再開、一時間以上に渡る中断と近年にない体験で、多少スコアはくずれたものの、レベルは高く、技術委員長の大室功氏が三十台のスコアを記録して、優勝を飾りました。ちなみに百以上は一名だけ、ベストスコアは高橋輝夫氏でした。

この暑さで、具合の悪くなったキャディの方はいましたが、カミナリで命を落とさず無事に終了することができました。最近、ゴルフで何かあると笑い話になるのが常で本当に助かりました。

郡山支部

体力の限界に挑戦

七月二十三日、晴れ、午前五時いざ出発。目指すは郡山駅。

昨年から思い続けて来た「夢」それは自分の足で郡山まで何時間で歩けるか。又歩き通せるかということである。決行一週間前から朝夕、一日二回約一時間ずつ訓練し、連休を利用しての実行だ。

自宅を出発して二時間約五キロ、万歩計で約七千歩のペースである。一時間後飯豊行定部落着。二時間後浮金小学校前着。三時間後柳橋着。快調なペースである。しかし、腰が痛くなってきた。足は大丈夫か?まだ大丈夫だ。柳橋からは下りが多い。頑張れ、頑張れ!と自分を叱咤激励しながら、四時間後海老根着。五時間後東武ニュースタウン入口着。

もう少しで郡山の市街が見えるぞ、最後の上り坂である疲れた、足のウラにマメが出来てきたようだ。腰も痛いがもう少しの頑張りだ。坂を上がると郡山のビル街が見えた バンザイ!あとは下りだけである。

阿武隈川を渡り、ようやく郡山駅前到着。午前十一時十分、所要時間六時間十分、万歩計で四二、一七八歩。遂に歩き通したのだ。さわやかな汗である。気持ちの良い疲れであった。皆さんもたまには歩いてみてはどうだろう。

追記

疲れを癒すためサウナに入り、行きつけの居酒屋であげた祝杯は最高。

白河支部

猛暑の中で

今年の夏は冷夏の予想に反して、連日三十度を越す猛暑で、各地で水不足が心配されています。この好天、高温はしばらく続きそうで、寝苦しい夜に悩まされそうです。

既に御存じとは思いますが去る七月十三日、白河市長今井英二氏が、急性心不全の為死去されました。突然の訃報に家族はもちろん、市民も驚くばかりです。ご冥福をお祈り致します。皆様、健康には十分注意して下さい。

さて、先日支部例会を開き夏季休業期間における、各事業所の緊急当番日を決め、白河での開催となる今年の協会移動理事会の今後の予定などを協議しました。

最後に白河支部長中島幸一氏が、七月十一日に建設大臣功労賞を受賞されましたことをご報告致します。

相双支部

昔ばなしをひとつ

ピッチャー高橋、キャッチャー佃（早実出身、次の年オールスター戦でホームランを打ち、万歳をしながらベースを一周して有名になった男）毎日オリオンズ対読売ジャイアンツ戦、前橋市営球場。もう四十年も前の話である。

このカードは、リーグが違うため一軍の公式戦では試合が出来ず、イースタンリーグ（二軍戦）のみのカードである。そのため有楽町駅を挟んでのライバル、毎日新聞と読売新聞との面子をかけての試合でもあった。両新聞社のお偉方がスタンドに陣取り、大声を出して応援をしていたのが思い出される。

バッターは、森（現西武監督）か加倉井（水戸商出身）であったように思うが定かには覚えていない。ボールカウントツーストライク、ノーボール、佃のサインはド真ん中の直球。佃とバッテリーを組むといつもこの調子で、セオリー通りの組み立ては失ずなく、相手の裏を読みながら大胆不敵な攻めをしていた。結果は三球三振。この試合を含め対ジャイアンツ戦は四勝〇負であり、この年のイースタンリーグの優勝は我が毎日オリオンズであった。

あれから四十年、今のプロ野球との技術力の差は歴然とはしているが、昔の選手みたいに良し悪しは別として、個性の強い選手が少ないというよりいなくなったのではないだろうか。コンピューターの発達で何事もデータで管理され、自分の意志や考えでは動けない世の中になっている世代の省いかもしれない。ただその中にも松井みたいに個性を強く出せる選手がいるのも事実で、コンピューターの中に自分を組み込むようインプットするのも一つの手かもしれないと思っている次第である。

いわき支部

現場安全パトロールを実施

いわき支部では平成六年度事業計画の一環として、七月十二日技術委員会を中心とした、当支部会員全員参加のもと、現場事務所会議室に於いて安全パトロールを実施致しました。

午前十時より始まり、いわき支部労働基準監督署から招いた羽染安全衛生課長の一般的な安全に対する講話のあとパトロールに移り、二十一世紀の森公園内の二現場の現場代理人より設備の概要及び今までの工事経過等の説明を受け、十時三十分よりただ今建設中の球技場、野球場の二つの現場のパトロールを実施致しました。

終了後、昼食を挟んで課長より経過及び講評を戴きました。その中で建設中の過程であればなおさら、作業業種に捕らわれず現場の整理整頓が大事である、との事から危険予知を考えながら現場全体を点検する等して、何よりも〝安全〟が建設現場で最優先されなければならない、と話されていました。

また、これからの建設現場での安全に対するご指導を戴き、「より一層安全に対する高揚等の積極的な推進により労働災害防止を図って貰いたい」と占めくくり、会員全員が安全に対する意識を新たに再確認しました。

会津支部

暑気払いで新たな意欲

顔を合わせると、「暑いですね!」という挨拶が定着した今日このごろですが、会津支部では七月二十一日市内の中華料理店にて、恒例になりました支部会を兼ねた暑気払いを、目黒支部長以下二十一名の参加で行いました。

支部内の連絡事項のあと、今年還暦を迎えたユアテックの手代木所長に記念品を贈呈し、暑気払いに入りました。

生ビールと中華を囲んでの情報交換や、近況報告など話しは色々でしたが、猪苗代で起きた感電事故死についての話題には、他人事ではないことを痛感した一夜になりました。

予算が決まらず、仕事が出せないと言っていた町村関係の工事も動き始めました。

〝夏バテ〟などと言ってられない。今年も後半、がんばるぞ~。

協会のうごき

6月

15日・県電波障害防止協議会（参事）福島ビューホテル

16日・職種別推進会議（参事）県立会津高等技術専門校

20日・第2回理事会　電協会館
・第2回総務委員会　電協会館
・第2回技術委員会　電協会館
・第1回広報委員会　電協会館

21日・県原子力懇談会定時総会（参事）　ウエディングエルティ

28日・第1回経営部会　電協会館
・第13回県建築文化賞に係る主催者及び後援団体の合同会議　自治会館

7月

6日・住宅フェア実行委員会幹事会（参事）　建設センター
・建産連第33回事務局長会議（参事）　建設センター

7日・第2回広報委員会　電協会館

15日・平成6年度県優良建設工事表彰式（会長）杉妻会館

16日・成田幸一氏叙勲受章祝賀会　ホテルハマツ

18日・県建設業労働災害防止大会表彰式（会長、参事）　サンパレス福島

19日・第3回技術委員会　電協会館
・いわき少年自然の家（仮称）陳情（正副会長、参事）

9カ所で説明会

六年度経審及び七、八年度入札参加資格審査

県土木部監理課は、「平成六年度経営事項審査及び平成七、八年度県建設工事等入札参加資格審査説明会」を県内九カ所で開催する日程は次の通り。

▽8月24日＝須賀川市文化センター大ホール、県中建設事務所管内を対象に午後一時十分四時三十分（測量や調査、設計のみの説明を受ける場合は午後三時、四時三十分

▽8月25日＝いわき市文化センター大ホール（いわき建設・同、開催時間同）

▽8月26日＝サンライフ原町体育室（相双建設・同開催時間同）

▽8月29日＝サンパレス白鳥端光合同ホール（会津若松建設・同、開催時間同）

▽8月30日＝白河農協広域農業管理センター（県南建設・同、開催時間同）

▽8月31日＝喜多方市農協会館大会議室（喜多方市建設・同、開催時間同）

▽9月1日＝田島建設会館二階会議室（南会津建設・同開催時間同）

▽9月2日＝県文化センター大ホール（県北建設・同、開催時間同）

▽11月28日＝県自治会館三階大会議室（土木部監理課・同、午後一時十分、三時

〝測量、調査、設計のみの説明を受ける場合は午後二時、三時〟

電気技術綜合コンサルタント!!
自家用電気施設のことは、お気軽に、ご相談下さい。
社団法人
東北電気管理技術者協会
福島県支部　いわき市勿来町関田和久2-1　☎(0246)64-8694
福島電気管理センター　福島市笠谷字桜水37-4　☎(0245)57-5877
いわき電気管理センター　いわき市平赤井字比良2-20　☎(0246)21-5516
若松電気管理センター　会津若松市居合町7-30　☎(0242)22-4062
原町電気管理センター　原町市牛越字下川原68　☎(0244)22-2297
郡山電気管理センター　郡山市逢瀬町河内申久保55　☎(0249)57-3080
事業本部：仙台市青葉区花京院二丁目1-11プレシーザル仙台ビル　☎(0222)61-6015

配分電盤専業メーカー
営業品目
屋内外キュービクル・高低圧配電盤
各種自動制御盤・各種分電盤
株式会社福陽電機製作所
福島市天神町10番41号
TEL0245－34－1528　FAX0245－33－8590

責任分界点・工場構内分岐点の区分開閉器に!
過電流ロック形
高圧気中負荷開閉器
7200V　100・200・300・400A
KLT-L形

株式会社戸上電機製作所
仙台営業所　〒980 仙台市中央1丁目2-3第一ビル
☎022(261)2261　Fax022-261-2263

配電盤専業メーカー
Furukawa
配電盤・制御盤・分電盤
FMAC監視制御システム・FMAC計測システム
FMAC-μマイクロコンピュータ・FMAC-μSシーケンスコントローラ
F55-8A自動力率制御継電器・データロガ・ロードチェッカ
板金から組立まで一貫作業の
古川電気工業株式会社
代表取締役社長　茂泉磊佐
本社　仙台市宮城野区扇町2丁目1-10　TEL(022)236-3327㈹〒983
工場　仙台市宮城野区扇町2丁目1-10　TEL(022)236-6317㈹〒983
支店営業所　東京，仙台，盛岡，青森，秋田，札幌
郡山営業所　福島県郡山市若葉町11－23　TEL(0249)34-0859㈹〒963
所長　松田貴充

高低圧配電盤・制御盤・監視盤・計装盤・分電盤
ワイム
株式会社山形電機製作所
福島営業所　所長　高橋　実
福島市大森字宮ノ前55-14　〒960-11
TEL(0245)46-1321　FAX(0245)46-1322
支店・営業所／東京・仙台・札幌・山形・秋田・岩手・福島
工場／山形・北海道千歳

技術開発で産業界に貢献する…
◆設計製造品目◆
屋内外キュービクル・高低圧配電盤・自動制御盤
非常用配電盤・計装盤・分電盤・其の他
信頼と技術で築く
株式会社　三陽電機製作所
本社・工場／〒971 福島県いわき市小名浜大原字丁新地194番地の1
TEL0246－52－0034㈹FAX52－0134